

# あくせす news

第 224 号  
2021年 2月15日  
発行者  
呉市医師会病院  
地域医療福祉連携室  
あくせす



初花月の候 いよいよ日本国内でも 2月中旬から医療従事者へ新型コロナワクチンの接種が開始されます。このワクチン接種が新型コロナウイルスの感染拡大の抑制につながることを期待します。当院も引き続き感染対策に努めてまいりますので、ご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

呉市初開催

## 第34回 中国・四国 ストーマリハビリテーション研究会

ご案内

「地域でつなぐ・支えるオストメイトの未来」をテーマに ストーマや創傷・排泄障害などのケアに関する問題点や解決策をアットホームな雰囲気の中で語り合う研究会です。初めての呉市開催となりますので、会員の先生方のご参加をお待ちしております。

日時：令和3年6月5日（土）9時～16時  
場所：呉市医師会館 5F 講堂  
開催方法：ハイブリッド形式（会場とWeb配信）

詳細は 呉市医師会病院ホームページ内 特設サイト 第34回中国・四国ストーマリハビリテーション研究会をご参照下さい

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/suto-marihaken/index>

### 第34回中国・四国ストーマリハビリテーション研究会

～地域でつなぐ・支えるオストメイトの未来～

開催期日：2021年 6月5日（土）  
会場：呉市医師会館（広島県呉市朝日町15-24）  
会長：中塚 博文（呉市医師会病院 院長）

<特別講演>  
① 榎原千秋先生（うんこ文化センターおまかせコンテナー代表）  
② 澤井尚子先生（Eナース）

事務局  
呉市医師会病院 大腸肛門病センター  
庭前・前原ケア認定看護師 榎野純子（事務：総務課 重田・横山）  
〒737-0006 広島県呉市朝日町15-24 電話 0823-22-2321  
E-mail suomak@kure.hiroshima.med.or.jp

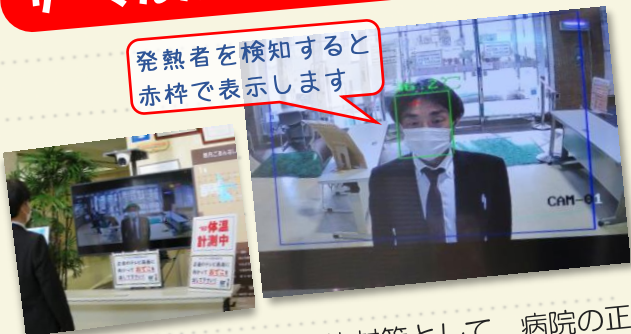
Pick up

## 新型コロナウイルス感染対策の取り組み



### サーマルカメラを設置しました

発熱者を検知すると赤枠で表示します



新型コロナウイルス感染対策として、病院の正面玄関に同時に多数の顔認証が可能なサーマルカメラを設置しました。  
玄関から院内に入る人の体温を感知し発熱者が通ると音声とライトの点滅で本人に知らせます。  
また、医事課内のモニター画面にもアラート音と共に画面表示されるシステムとなっており、発熱者に対してより迅速な対応が出来るようになりました。

### 会話支援機器を導入しました

患者さんに向けて声を届けます！



外来診察時には、常にマスクを着用するようになりました。医師の声が聞き取りにくくなった患者さんとスムーズに会話をするために、会話支援機器「comuoon（コミュニケーション）」を導入しました。  
医師の声は胸元の小型マイクを通して卵型のスピーカーからクリアな音声に変換されて患者さんに届きます。よく聞こえるようになったと患者さんにも好評で患者さんとのコミュニケーションが取り易くなりました。

# 除菌後胃癌の内視鏡診断

こたち たかひろ  
 広島大学病院 内視鏡診療科 助教 小刀 崇弘 先生



胃癌の主たる原因はピロリ菌の持続感染です。本邦では、2013年2月にピロリ菌感染胃炎に対する除菌療法の適応が保険収載され、現在除菌後の患者さんが増えてきています。除菌を行うことで胃癌発症リスクは減らせるものの、0になるわけではありません。除菌後に発見される早期胃癌は、除菌前の胃粘膜の状態にもよりますが、分化型管状腺癌が多いことが報告されています。高齢男性や胃粘膜の萎縮が進行した方、胃癌の内視鏡治療の既往がある方では特に除菌後の胃癌発症は高リスクです。このような方達は年に1回の内視鏡サーベイランスが必須と言えます。

除菌後発見早期胃癌の内視鏡的特徴として、我々は除菌後粘膜に出現する発赤した陥凹に注目しました。広島大学病院で内視鏡治療を行った除菌後胃癌患者さんとピロリ菌現感染の胃癌患者さんの内視鏡的形態を比較したところ、除菌後胃癌の患者さんでは有意に発赤したO-IIcの形態が多かったことが分かりました(表)。

除菌後の胃粘膜には(図)のように癌類似の発赤陥凹が出現し、白色光内視鏡観察では良悪性の鑑別が困難なことが多いです。そこで、この発赤陥凹に対して画像強調観察(IEE)の一つである、narrow band imaging(NBI)拡大観察を用いて観察したところ癌と非癌の鑑別が概ね可能となり、不要な生検を回避でき、かつ生検の陽性率が向上しました(kotachi et al. Digestion 2018)。NBI拡大観察をして初めて癌と気づく病変もあり、白色光観察のみでは胃癌を見落としている可能性も高いと考えています。

このように除菌後胃癌には特徴的な形態があり典型像を頭に浮かべて内視鏡検査を行う必要があります。



小刀先生には毎週木曜日の午後到大腸内視鏡検査を担当していただいています。対象の患者さんがおられましたらご紹介の程よろしくお願いたします。

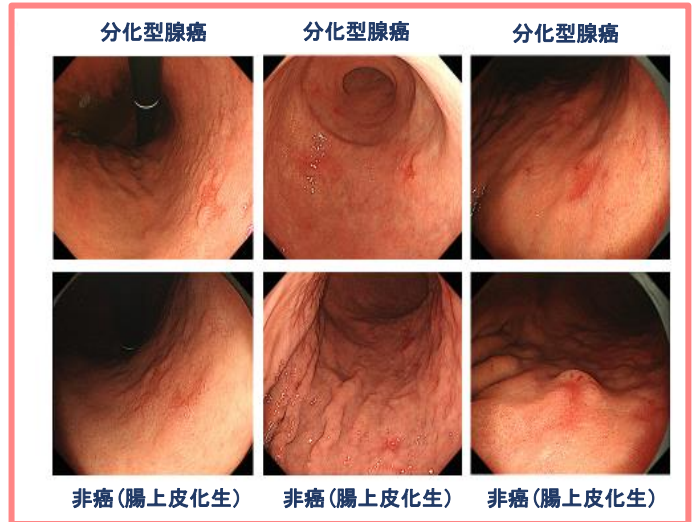


表

## 除菌後発見胃癌は発赤陥凹の形態を示す

	除菌後胃癌 (104 lesions, 95 patients)	対照 (104 lesions, 97 patients)	p value
Macroscopic type			
Superficial elevated (include elevated)	22	48	
Superficial depressed	82	56	
Lesions of reddish depression	63/104 (60.6%)	39/104 (37.5%)	<0.01

図



## 関係医師懇談会のご案内

### CT・MRIの造影検査における注意点

#### — 合併症・副作用について —

講師：飯田 慎 先生  
いいだ まこと

(広島大学病院 放射線部 診療准教授)

日時：令和3年3月23日(火)19:00~

場所：呉市医師会館 5階 講堂

今回は軽食(カレー)のご準備は致しませんのでご了承下さい

### ★1月1日~1月31日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
97.4人	49.2%	20.1日	57人	71件

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 博文 室長 中間 千穂 事務 中野 浩美 事務 石坂 梨恵  
 FAX (0823) 32-7507 MSW 森下 香織 MSW 菅原 淳子 MSW 巻幡 成美

